

第5学年2組 音楽科学習指導案

指導者 XXXXXXXXXX

- 1 題材名 曲のおもしろいところを見つけてきこう 4時間扱い
教材名 「つるぎのまい」 ハチャトゥリアン作曲 (鑑賞)

2 題材について

(1) 題材観

学習指導要領とのかかわり
第5学年 B鑑賞 (1)イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。
〔共通事項〕 ア (7) 音色 旋律 (イ) 反復 変化 問いと答え

本題材は、音楽を形づくっている要素の関わりを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くことを狙いとしている。中学年までに身に付けた鑑賞の能力を基にして、曲想とその変化などの特徴を感じ取って表情豊かに聴いたり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴いたりしながら、聴く喜びを深めるようにすることが重要なこととなる。また、楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさを理解することが大切である。

「つるぎのまい」はティンパニの力強い前奏のあと、木琴の速く激しい旋律が始まり、合いの手にトロンボーンのグリッサンドが入る。中間部にはサクソフォーンが妖しげな音楽を奏で、また、はじめの旋律に戻るといふABAの三部形式をとっている曲である。個々の楽器の音色や旋律、リズムが特徴的で、子供たちにとって曲の面白さを感じ取りやすい曲である。

(2) 児童の実態

(3) 指導観

本題材では、児童が音楽を特徴づけている要素と音楽の仕組みのかかわり合いに気付いて聴く喜びを深め、自分なりに感じ取った曲のよさを主体的に伝えようとする姿を目指していきたい。

「つるぎのまい」の第1時では、全体で鑑賞し、付箋に一度目の感想を書かせ、黒板に張り、個々の気付きを確認する。全体で確認しながら、激しい舞踏的旋律、中間部のエキゾチックな旋律など、音楽を形づくっている要素に気付かせていきたい。児童の実態で、意識できていなかった旋律、反復、音楽の会話についてもこちらから問いかけて、全体で確認していきたい。

第2時では、さらに、それぞれの旋律やリズムの特徴に気付き、音の重なりや曲の面白さを感じ取らせるために演奏体験を行う。第3時では、第1時、第2時で学んできた曲想とその変化などの特徴、音楽を形づくっている要素のかかわり合いから感じとったことへの理解をさらに深めるため、からだの動きで曲を表現する活動を中心に行う。表現することが苦手に感じたり、恥ずかしがったりする児童もいるため、

リズムや旋律にあった動きを、小道具のスカーフを持たせて動かしながら曲を表現する活動をして、さらに曲の特徴や面白さを感じ取らせていきたい。第4時では、これまで曲を聴き、楽器を体験したり、体の動きで表したりして楽曲の特徴や良さを理解してきた活動のまとめとして、この曲の面白さや特徴を文章で表す活動を行う。

3 題材の目標

- ・曲想とその変化，曲の構造やその特徴に気付く。
- ・自分なりの曲の魅力について考え，言葉や体の動きなどで表す。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<p>① 楽器の音色やリズム，速度，旋律の反復や変化，合いの手を言葉で表すなどして，曲の特徴や演奏の良さに気づいて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 音楽を形づくっている要素のかかわり合いによってつくられている曲の面白さや特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>① 曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じるとともに，曲の構造を理解して聴いたり，身体で表そうとしたりしている。</p> <p>② 曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素のかかわり合いから，想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，曲の特徴を理解して聴いている。</p>

5 指導と評価の計画 (4時間扱い)

時間	◎ねらい ○学習内容・学習活動〔共通事項〕	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
第	◎曲想とその変化，曲の構造やその特徴やその面白さを感じ取って聴く。	

<p>一 次</p>	<p>1 ○「つるぎのまい」を聴き、特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲通して聴き、ABAの形であることを知る。 ・気づいたことを付箋に書き、表に貼る。 ・気づいた点について話し合う。 ・曲の構造やその特徴について全体で確認する。 ・速さとリズムについて確認する。 ・気に入ったところを演奏のまねや動きをして表しながら聴く。 <p>[音色] ティンパニ、木琴、サクスの音色の特徴に気づいている。</p> <p>[旋律] 前半の速いリズムで激しい旋律と中間部のゆったりした旋律に気付いている。</p> <p>[問いと答え] トロンボーンの合いの手に気付いている。</p> <p>[変化] はじめと中間部で曲想や拍子に変化していることに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲がABAでできていることを確認する。 ・付箋を配り、リズム、速さ、旋律、楽器など気づいたことを記入させる。 ・表に付箋を貼らせる。 <p>・AとBで速さが変化したように感じやすいので指揮をしたり、拍を取ったりして速さは変わらないことを知らせる。</p> <p>◇(関一①)楽器の音色やリズム、速度、旋律の反復や変化、合いの手を言葉で表すなどして曲の特徴や演奏の良さに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【活動の様子・付箋の内容】</p>
	<p>2 ○音楽を形づくっている要素を聴き取り、曲の面白さや楽しさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つるぎのまい」の主な楽器(ティンパニ、木琴、サクソフォーン、小太鼓、大太鼓)について、体験をする。 ・児童の興味や能力に合わせて楽器を選ばせ、演奏の体験をする。 ・一部を数人で合わせる。 <p>・6人グループを作り、「つるぎのまい」に合わせて体の動きで表す活動の見通しを持つ。</p> <p>[旋律] [音色] [反復] [変化] [問いと答え] 旋律の反復や音色の特徴、問いと答えに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの楽器の演奏を体験して、リズムや旋律の雰囲気など音楽を形づくっている要素を感じとらせる。 ・すぐに演奏することが難しい児童にも、木琴のファファファファファファの部分など一部でも参加できるようにさせる。 ・サクソフォーンはオルガンで弾く場所にシールを貼り、体験できるようにさせる。 <p>・リズムや楽器の特徴にあった動きを考えるように伝え、次回の活動について見通しを持たせる。</p> <p>・曲を流し、動きながら決めていくようにさせる。</p> <p>◇(鑑一①)曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じるとともに曲の構造を理解し</p>

			て聴いている。 【活動の様子の観察, 発言の内容】
第二次	◎自分なりの曲の魅力について考え, 体の動きや言葉などで表す。		
	3	<p>○「つるぎのまい」の曲想とその変化などの特徴や, 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを体の動きで表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5, 6人のグループで旋律の反復や変化, 合いの手など, 曲を特徴づけている要素を体の動きで表現する。 ・それぞれのグループごとに体の動きを発表する。 <p>[旋律] [音色] [反復] [変化] [問いと答え] 旋律の反復や音色の特徴, 問いと答えなどの曲の特徴に気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに曲の特徴に合った動きを考えさせる。 ・AとBの曲想の変化を表すよう助言する。 ・ワークシートを見て, 曲の特徴について確認させる。 ・スカーフの使用の仕方について, いろいろな表現の仕方があることを知らせ, 表現の幅を広げさせる。 ・発表をみて, どうしてそういう動きをしたのか発問したり, 特徴をつかんでいる動きをしているグループがあれば, 全員に知らせたりする。 <p>◇(関一②)音楽を形づくっている要素のかかわり合いによってつくられている曲の面白さや特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【活動の様子の観察】</p>
	4	<p>○「つるぎのまい」を全曲通して聴き, 気が付いたことや感じとったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全グループが曲の特徴にあった動きの発表をする。 ・「つるぎのまい」の紹介文を書く。 <p>[音色] [旋律] [反復] [変化] [問いと答え] 旋律の反復や音色の特徴, 変化, 問いと答えなど音楽を形づくっている要素のかかわり合いから生まれる曲の面白さや曲の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や強弱など曲に合った点などについて発表させる。 ・発表の鑑賞をして, 曲想とその変化などの特徴や形づくっている要素とのかかわり合いから曲の面白さや特徴を確認させ, この曲の面白いところや特徴などを書くようにさせる。 ・前時までに学習した曲の特徴や, 自分で思う曲の面白さなど文に表すようにする。 <p>◇(鑑一②)曲想とその変化などの特徴や音楽を形づくっている要素のかかわり合いから, 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして, 曲の特徴を理解して聴いている。</p>

	特徴に気付いている。	【活動の様子を観察】【発言や記述の内容】
--	------------	----------------------

6 本時の指導（3／4）

(1) 目標

- ・音楽を形づくっている要素のかかわり合いを体の動きで表現する。

(2) 展開

過程	時配	○主な学習内容 ・学習活動 「発問」 『予想される児童の様子』	・教師の働きかけ ◇評価 【評価方法】	〔共通事項〕の扱い
めあてをもつ	5	○学習の雰囲気作りをする。 ・「ノルウェー舞曲」の曲に合わせて体を動かす。 ○本時の目当てをつかむ。	・曲の速度や強弱にあった動きができるよう意識させる。	
見通しを持つ	5	音楽のおもしろさを体の動きであらわそう		
考えを深める	20 10	<ul style="list-style-type: none"> ・5, 6人のグループで、旋律の反復や変化, 合いの手など体の動きで表せるようにする。 『はじめの力強い感じを表そう』 『合いの手はみんなで動きを決めよう』 『終わり方はだんだん弱く高くなっていくね』 ・いくつかのグループの体の動きを見合う。 ・友だちのグループのよかったところなど発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を見ながら, 何度か曲を流す。 ・動きを通くりやすいようにスカーフを持たせ, 動きを考えさせる。 ・グループの中で特徴を表す楽器の分担をするよう声をかける。 ・AとBの違いが出せるように声をかける ・曲の特徴に合っているかに気をつけて工夫点を見つけるようにする。 ・曲に合っていた点について感 	<p>〔音色〕〔旋律〕〔反復〕〔変化〕〔問いと答え〕</p> <p>音色, 旋律, 反復, 変化, 問いと答えなど曲を表す特徴に気づいている。</p>

振り返る	5	『ティンパニの力強い動きが出せていた。』 『トロンボーンの合いの手の速くなめらかな感じが出せていた。』 『AとBの違いが動きで表せていた。』	想を発表するようにさせる。 ◇関一②音楽を形づくっている要素のかかわり合いによってつくられている曲の面白さや特徴を理解して聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【活動の様子を観察】	
		○次回、全部のグループが発表し、「つるぎのまい」の良さや面白さを書くことを知る。	◎グループごとの体の動きを発表し、曲の良さや面白さについて、紹介文を書くようにする。	

(3) 板書計画

音楽のききどころ			
「つるぎのまい」 ハチャトゥリヤン作曲			
音楽の面白さを体の動きであらわそう。			
	A	B	A
気分	はげしい	あやしい	最後は静かに音が上がっていった
強弱	強い	静か	
リズム	細かい	長く伸ばす	
速さ	速い	おそい	
旋律	はねる	なめらか	
楽器	木琴 ティンパニ	サクソフーン	
音色	かたい	ひびく	
その他			

(4) 本時の評価と教師の働きかけ

「十分満足できる」と判断される児童の学習状況
・要素のかかわり合いを理解し、体で表現することができる。
「努力を要する」と思われる児童への指導の手立てや働きかけ
・特徴のあるリズムや音色について確認させ、それにあつた動きができるように友だちの動きに注目させたり、動きのアドバイスをしたりする。

